



～農業振興を通じて地域社会へ貢献～



3月4日、「北海道新規就農フェア」に出展！
道内外から訪れる就農希望者と面談を行いました！

→記事の詳細は5ページ

JAきたそらちでは、ホームページ/Facebook/
Instagram/YouTubeで、魅力満載の情報を
発信中です！ぜひ、ご覧ください！



ホームページ



YouTube



Facebook



Instagram



JA HITASORACHI

目次

- 青年部スノーメッセージ「くってみなとぶぞ！」・・・ 2
- 第23回 女性部通常総会 3
- 笹だんごを保育園と小学校に贈呈 6
- 令和5年4月1日 機構図 12～14

JAきたそらち青年部

スノーメッセージ制作『くっしてみなとぶぞ!』



青年部
だより

2月20日、JAきたそらち青年部（駒村剛史部長）が、JA本所駐車場に「スノーメッセージ」を制作した。

「スノーメッセージ」は、青年部活動の一環として毎年、農業者の思いを消費者にPRすることを目的に、JA関連施設や管内の道の駅などに制作している。昨年は新型コロナ対策のため制作を見送っていたため、2年ぶりの制作となった。

今回は、各支部より19名の部員が参加。部員がそれぞれ持ち寄ったスコップと4色のスプレー（赤、青、緑、黒）を使い、元プロレスラーの長州力氏がテレビ番組「相席食堂」にて発言しSNS等で“バズった（注目を浴びた）”名言、『くっしてみなとぶぞ!』というメッセージと深川市のご当地キャラ『こめっち』を、高さ約3m、幅約15mの雪山に描いた。当日は曇天で気温が低く、寒空の下での制作となったが、部員それぞれで声を掛け合い、ときに談笑しながら制作を楽しんでいた。



「スノーメッセージ」制作を担当した同部常任理事（農政部会）の亀上健太氏は、「当JAの農産物は我々作り手が想いを込めて生産しているため、消費者に食べていただければ、その美味しさや品質の良さが伝わると思う。まさに“とぶ（精神が飛んでしまいそうな）”ほどに美味しい、“きたそらちの農産物”を皆様にお届けしたい、そんな想いをこのスノーメッセージに込めた」と笑顔で語った。

JAきたそらち青年部

営農学習会で「無代かき水稻栽培」を学ぶ

3月9日、JAきたそらち青年部（駒村剛史部長）が営農学習会をJA本所で開催し、55名の部員が参加した。

同部による営農学習会は、日々の営農に係る栽培技術の向上やリーダーシップ論など、多岐にわたる内容で毎年開催されており、今年は「無代かき水稻栽培」を主題に、北海道総合研究機構（道総研）および農業・食品産業技術総合研究機構（農研機構）より講師を迎え、2つの講演が行われた。

1つ目の講演では、（地独）道総研 農業研究本部 水田農業部長の五十嵐俊成氏が「無代かき水稻移植栽培について」と題し、無代かき水稻栽培の実施方法や試験圃場における慣行の代かき水稻栽培との比較等を説明。また五十嵐氏は「無代かき水稻栽培は、土壌の団粒構造が破壊されることがないため田畑輪換には有効的であり、代かき水による河川の懸濁を防ぐことができる」などとまとめた。

2つ目の講演では、（国研）農研機構 北海道農業研究センター 上級研究員 鮫島啓彰氏が「無代かき水稻栽培後の大豆栽培について」と題し、3年間にわたる同センターにおける無代かき移植と代かき移植、乾田直播との比較などの研究事例をもとに、その収量差などについて説明。また鮫島氏は「粘土質圃場における前年度の代かきの有無が土壌の排水性、保水性、固さへ及ぼす影響は、大豆栽培前に耕起作業を複数回行ったとしても持続する」などとまとめた。

参加した部員は「無代かき水稻栽培について興味はあったが、情報を仕入れる機会があまりなかった。今回の学習会でメリットとデメリットが分かったので、今後取り入れることがある際には参考にしたい」と感想を述べた。



第23回 女性部通常総会

2月20日、JAきたそらち女性部（岡田裕子部長）の第23回女性部通常総会が開催され、部員64名が参加した。

総会の前の学習会では、一般社団法人 すみれ相続センター代表理事 近藤充広氏が、「《専門用語を使わない》母と娘の相続・遺言講座」と題した講座を行った。近藤氏は、過去に起きた事例などを取り上げながら公正証書の有効性や認知症対策・不動産対策等について詳しく説明し、「いつどこで、どうなるのか分からない。家族で喧嘩にならないよう、分け方や取り分を遺言等で決めるなどお金をコントロールすることが大事」と部員へ呼びかけた。

総会では、事業報告・決算・計画議案が原案通り承認され、令和5年度本部役員が決定した。新役員は右記の通り。



役 職	氏 名	支 部
部 長	高田 聡子	雨 竜
副部長	三谷 好美	音 江
副部長	横川 優子	深 川
理 事	宮岸 俊子	イチヤン
理 事	板垣 春美	多 度 志
理 事	白岡 紀美	北 竜
監 事	宮崎美由紀	納 内
監 事	山内 和美	幌 加 内

農業 振興部

JAきたそらち女性大学「カレッジあみていえ」
2期生 卒業式・記念講演

3月10日、当JAの組合員（正・准）やその家族である女性を対象とした、JAきたそらち女性大学「カレッジあみていえ」2期生の卒業式が挙行された。
「カレッジあみていえ」はJA管内の女性が「食と農」「くらし」「文化」などの学習を通じて、元気な地域づくり・心豊かな仲間づくりを目指す次世代を担う女性リーダーを育成することを目的に活動を行っており、この日は第2期生12名のうち10名が参加した。

卒業にあたり、同大学の岩田清正学長（JA代表理事専務）は式辞の中で「学生の皆様はコロナ禍でも時に楽しみ、時に真剣に活動を行っていました。得た知識は人に教えると記憶に残りやすいので、皆さんが女性大学で様々なことを学び体験したことを多くの方々に伝えて頂きたい。そこから何かが始まり、大きな実となり、新しい風が吹くことを期待しています」と述べた。

卒業式では、岩田学長より出席した受講生一人ひとりに、卒業証書と卒業記念品であるマイボトルの授与が行われ、1名が皆勤賞として表彰された。

また当日は、記念講演も合わせて行われ、当JA農業振興部 佐藤一久部長が講師として「食料、農業、そしてエシカルに」と題し、新型コロナウイルスを振り返りながら外食産業への影響等を説明。さらに肥料・穀物肥料・燃料の価格高騰による農業の影響も説明し、受講生に「エシカルな考えを持ち、国産や道産のものを意識的に選び、国民の命を守る農業を一人ひとりの行動で支えて欲しい」と呼びかけた。



第2期生 卒業証書授与式

深川市新規就農等受入協議会 第2回 通常総会を開催

深川市新規就農等受入協議会（佐々木伸介会長）は3月2日、第2回通常総会をJA本所会議室で開催した。

同協議会は、深川市内の新規就農受入農家が主体となり、市内における農業の担い手不足や後継者不足の解決に向け、現在23戸の受入農家や法人が会員として活動している。

総会の開会にあたり、佐々木会長は「情熱とやる気を持った研修生や就農希望者がこの地域へ根付くことが一番の目標で、課題でもある。協議会員による効果的な研修の実施や技術指導の向上のため、本年も積極的に研修会や交流会等を行い、会員同士の意見・情報交換を通じて研鑽を磨き、また研修生や就農希望者が新規就農するにあたり、関係機関各所には、入口だけでなく、研修から就農のタイミング、営農が安定する出口までの一連のフローにおける継続的なサポート体制の拡充へのご協力をお願いしたい」と挨拶した。

議事では、令和4年度の事業報告や新規就農相談の受付・対応等の経過報告、令和5年度の事業計画議案等が満場異議なく承認された。また役員改選が行われ、佐々木会長および神尾誠副会長が満場異議なく留任となった。



農業 振興部

深川市新規就農等受入協議会 「第2回 JAきたそらち雇用就農フェア」を開催

深川市新規就農等受入協議会（佐々木伸介会長）は2月15日、「第2回 JAきたそらち雇用就農フェア」をJA本所会議室で開催した。

同フェアは、雇用就農への意向や興味を示す新規就農希望者および（株）深川未来ファーム研修生と、同協議会に法人で参加する会員等との面談の場を設け、就農先・研修先としての今後のマッチングに繋げることを目的として開催。昨年の第1回の開催により、法人就農希望者1名と同ファーム研修生1名がそれぞれ、同協議会員のもとで法人就農に結び付いている。



今年度は求職側として、道外で開催された新規就農フェアにて面談した就農希望者1名と、同ファームにて研修中の地域おこし協力隊員3名、また求人側としては、同協議会から参加の意向を示した会員3名が参加。求人票や新規就農申込聞取調書に沿って、希望する就農形態や作物、また雇用条件等について、直接及びリモートによって面談した。今回の面談結果として、求職側全員が、求人側である同協議会員のもとでの法人就農や農業体験、短期研修に繋がれるような形となった。



求職側として参加した同ファーム研修生は、「これまで研修した中で生産者と関わりを持つ機会が少なかったため、今回参加して面談することが出来てよかった。また新規就農を目指すにあたり就農形態などに迷いがあったが、面談した生産者のもとでの法人就農を含め、自身の就農に対する方向性に対して考えやすくなった」と述べた。

同協議会では、今後も同フェアを継続的に開催する予定としている。

新規就農イベントへ出展

当JAでは、管内の各行政や関係団体と連携し、道内外で開催される各新規就農イベントへの出展を積極的に行っている。

新規就農イベント（「新・農業人フェア」、「マイナビ農林水産FEST」、「北海道 新規就農フェア」等）は、札幌市や東京都、大阪府などの中心都市で毎年数回にわたって開催されており、各行政や農業関連団体、就農支援機関などが出展し、農業に興味を持って独立就農や法人就農を目指している来場者に直接PR・情報発信・相談活動ができる場所となっている。

3月4日に札幌市で開催された「北海道新規就農フェア」では、当JA管内としては深川市、雨竜町農業地域担い手育成センター（雨竜町）、北竜町地域担い手育成センター（北竜町）が出展し、行政や関連団体職員、JAからは新規就農受入農家および各支所営農課職員などが参加した。

深川市の出展では、（株）深川未来ファームのコーディネーター、深川市農政課職員、JA職員に加え、受入農家として「深川市新規就農等受入協議会」より馬場勇二氏が参加した。この日は、道内外より独立就農や法人就農を希望する5組6名が来訪し、希望する作目や同市における就農条件、また移住サポート等について、各30分～1時間にわたって面談を行った。

参加した馬場氏は、「初めて就農フェアに参加し、どのような就農希望者と会えるか楽しみで、また心配でしたが、しっかりと就農への意思を持ち深川市における新規就農に希望が持てる方と面談できた。行政やJAなどの関係機関には、入り口の部分としてのフェアの参加に加え、出口の部分における就農サポートを今後も期待している」と話す。



雨竜町農業地域担い手育成センター



北竜町地域担い手育成センター



新 風



農家後継者



氏名	年齢	就農年	地区	経営面積
宮田 雅大 さん みやた まさひろ	37歳	令和3年4月	深川支所 メム地区	18・7 ha（水稲、小麦、大豆）

☆目指す農業

大学卒業後、函館の企業に就職しましたが、実家の農業を継ぎたいと思うようになり、深川に帰ってきました。深川に帰って来てからは、JAきたそらちの給油所にて臨時職員として働かせていただきながら、実家の農作業を手伝っていました。本格的に就農することになりました。まだまだ知識も少なく、技術も未熟ではありますが、今後さらに経験を積み、最新技術等も学びながら、より安定した経営を目指していきたいと思っています。

一日でも早く立派な農業者になれるよう頑張っていますので、皆様のご指導・鞭撻のほどよろしくお願い致します。

ボランティア野菊の会

深川支所

笹だんごを保育園と小学校に贈呈

3月3日、ボランティア野菊の会（竹内接子会長）が、多度志地区の保育園と小学校に手作りの笹だんごを贈呈した。

多度志の特産品でもある「笹だんご」は、道の駅やJR深川駅、市内の各イベントなどで販売している。

この取り組みは「地域の味を子供たちにも伝えていきたい」という想いや、地産地消（多度志で育った作物を多度志で食べる）の意味を含めて、平成12年から毎年桃の節句に合わせて実施している。会員が丹精を込めて作った71個の笹だんごは、保育園と小学校へ竹内会長が訪問し園児や児童に「みんなで食べてね」と手渡した。受け取った園児は「ありがとうございます」と元気にお礼を述べた。

【深川支所 正田】



納内年金友の会

令和4年度定期総会を開催

金融
共済部

2月16日、納内時計台プラザで納内年金友の会（川中裕会長）の令和4年度定期総会が3年ぶりに開催された。

川中会長は開会にあたり、新型コロナウイルスの影響により総会や行事等が2年間実施できなかったことのお詫びや、早く会員揃って歓談できることを祈念しているなどと挨拶した。

来賓には深川市議会議員 鶴岡恵司氏、納内地区代表理事 吉田裕紀氏が参加。議事では、菅原道廣さんを議長に選出し、令和4年度行事報告と収支決算、令和5年度の行事計画と収支予算が原案通り承認された。また、本年は任期2年の役員改選期であったが全員留任となった。

例年であれば、総会後に行われる宴会を、今回は実施せず終了後にお弁当を持ち帰り解散とした。

【金融共済納内支所 盛本】



米寿のお祝い 生年月日順、敬称略 11名

長谷川メエ、田中悦子、荻原正雄、北野孝治、壺井幸子、高村繁美、岩間輝夫、村中穰、野坂健司、谷口トキ子、長尾秀子

小学生への食育事業を経験 ～自分塾2期生修了式～

2月24日、当JA本所で自分塾2期生10名の修了式が開催された。

自分塾は、職員の仕事や役割等の活動領域を拡げることと目的として入組5年前後の若手職員を対象とした人財育成の取り組みのこと。

開催に当たり同塾長の岩田清正専務が「小学生への食育として様々な講習や現場での活動を行ってくれたことに感謝したい。参加した小学生がこの取り組みを大人になった時に思い出し、さらに皆さんがその思い出の一つになれるのは非常に大切なこと。今後も自分塾での活躍を忘れずに何事にも前向きに取り組んで頂きたい」と挨拶した。

当日は、塾生9名と役職員8名、専任講師の石田邦雄氏が出席し、塾生を代表し経済部資材推進課 畠山倫太郎が食育事業の実績報告として、牧場見学や野菜収穫など1年間の活動を通して”農業の大変さ””収穫・出荷・消費者に届くまで”を小学生に伝えてきたことを報告。さらに「全体のリーダーをあえて作らなかったことで、1人に責任を押し付けることなく各イベントでそれぞれが責任をもって活動を行えたことは、自分塾そのものの目的である自主性を伸ばすことに繋がった」と活動を振り返った。

また最後に同塾長の岩田清正専務より修了証書の授与が行われた。



総務部

活気のあるJAを目指して。 ～サムライ塾2期生修了式～

2月24日、当JA本所会議室でサムライ塾2期生の修了式が開催された。

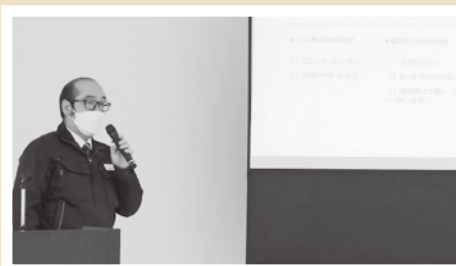
サムライ塾とは、組合員および地域の生涯にわたって近くにある存在のJAであるために「なくてはならない職員づくり」「今後のJAをより良くするための仲間づくり」を目的として当JAで行われている中堅職員を対象とした人財育成の取り組みのこと。

開催に当たり柏木孝文組合長は「今後農協がどのように進んでいかなければいけないのか、若い方の感覚でそれぞれの想いをプレゼンテーションして頂きたい。また、この機会を自身のスキルアップに繋げて頂ければ」と挨拶した。

当日は、塾生7名と役職員8名、さらに専任講師である石田邦雄氏が出席して行われ、塾生一人ひとりが2年間の研修を終えた感想や今後の想いを発表した。

その後、塾生を代表し金融共済部融資課 梅村大輔主査が当JAの抱える問題として、若年層の離職問題や職場の雰囲気に対する問題などを挙げ原因を分析。サムライ塾2期生を中心としたプロジェクトチームを設立し、他の職員と共に環境改善に引き続き力を尽くしたいと提案した。

また、最後に同塾長の岩田清正専務より修了証書の授与が行われた。



未来への種まき ～なでしこ塾1期生修了式～

総務部

3月9日、当JA本所会議室で、なでしこ塾1期生の修了式が開催された。

なでしこ塾とは、女性活躍推進塾として女性職員における組合員や地域に貢献する人財を育て確保することを目的とした人財育成の取り組みのこと。

開催に当たり同塾長の岩田清正専務は「自分の人生のプラスとなる活動だったのではないと思う。皆さんには今後も笑顔で仕事をしてほしい。ニコニコと仕事をしている人は輝いて見える。輝いている職員が集まる場所、私たちが目指す農協はそういう場所でなければならない」と思っている。なでしこ塾で学んだことを行動に移してほしい」と挨拶した。

当日は、塾生6名と役職員7名が出席して行われ、塾生一人ひとりが2年間の研修を終えた感想や今後の想いを発表した。

その後、塾生がプレゼンテーションとして、「当JAの職員同士が希薄な関係である」「地域での人手の流出や人口減少」「子どもたちが地元の企業を知らない」等を課題として挙げ、子どもたちに将来の就職先の一つとしてJAきたそらちを知ってもらうことを目的とした、小学生対象の職場体験を提案した。

職場体験を行うことで未来の就職率向上だけでなく、職場体験という一つの目標を共有することにより職員間の連携と協調性を高め、離職率の低下につなげたいと説明した。プレゼンテーション後には、同塾長の岩田清正専務より修了証書の授与が行われた。



若手JA職員向け

「土壌分析に基づいた施肥設計セミナー」を開催

経済部

3月9日、青果部会議室で、当JAの20～30代の職員に向けた『土壌分析に基づいた施肥設計セミナー』が開催され、各支所営農課や資材課、販売部より17名の職員が参加した。

セミナーには、ホクレン岩見沢支所職員の安井太郎氏と特任技師の黒澤健治氏を講師に迎え、当JA管内の土壌の特徴をはじめ、土壌における物理性や化学性といった基礎知識、肥料ごとによる成分量などについて、基礎から応用までの幅広い内容で講習が行われた。

また、土壌分析から過剰もしくは不足している成分を算出し、それに見合った肥料銘柄を推奨する一連の流れや、組合員との施肥設計を、デモンストレーション形式で行うなど、より実践的な講習会となった。

参加した職員は「実際にデモンストレーションによる講習を経験することで、組合員対応を行う現場において、土壌分析の必要性を意識できるようになった」と感想を話す。

職員ひとりひとりのスキルアップはもちろん、肥料価格の高騰を受け、これまで以上にコスト削減に対する組合員の関心が高まっていくなかで、より一層、JA職員が組合員のニーズに最大限答えていくことの重要性も改めて認識する機会となった。

【資材課 明月】





石田邦雄の

農業紡ぎ愛

第26回

「批判集団」ではなく「提案集団」であれ

去る2月24日、中核的人財の育成“を目的に行われたサムライ塾2期生の修了式を兼ねた企画立案のプレゼンテーションが開催されました。私が貴JAと「人づくり」に関わり約4年。そのスタートはこの「サムライ塾」でした。ところが1期生がスタートし2年目に向かおうとしていた矢先に予想もしない事態に。全世界をパンデミックへと追いつたコロナ禍です。研修自体がスタートして間もない暗中模索の時でもあり、当初の思惑が大きく崩れ、当時の担当者は大変な苦勞をされたのではと推察しております。それでも昨年くらいから徐々に経済が回り始め、ようやく研修の方も軌道に乗つつあるように思います。そうした中での常勤役員等を前にしたサムライ塾2期生のゴールといえる今回のプレゼンテーションです。立案の軸は「JAきたそらちをもっとよくする為に」ということで、令和5年度には、それに向けたプロジェクトチームを作り「アンケート調査の実施」や「職員プロフィールカードの作成」などの取り組みを進め、結果、

「魅力あるJAきたそらちに」くらいが落としどころでしょうか。私はその専任講師として何かとこれまでもメッセージを送ってきたのですが、とりわけ彼らに強調したのが「批判集団」ではなく「提案集団」であれです。ただ誤解のなきように言いますと、決して「批判がダメ」といつている訳ではありません。それがないということはむしろ、問題意識の欠如“の現れかもしれない、ある意味、流された働き方”に繋がる可能性が大きいといえるでしょう。としたら、むしろ建設的な批判は大歓迎で、大事なことは「批判のための批判にしない」ということです。また「提案」についても大切なことは前者同様に「提案のための提案」にすることなく、提案をしたら「自らがどう関わるか？」を忘れないことも強調して。これには「主体性」という言葉が馴染むかもしれません。この発表の中でのサムライの言葉を借りると「体現者」といえます。なお、これに加えて最後に塾生7名に訴えたことがあります。それは「魅力あるJAを目指すことは非常に重要だが、ならば『JAの魅力とは?』と聞かれたらそれにキチンと答えら

れる人であってほしい」と。何故ならこれは“企業の価値観”等にも繋がり、また今日の若者達のこだわりの一つでもある「働く意味」とも重なるからです。サムライ諸君にはその思いを自分なりに確立し、それを“周囲に広げる先兵であってほしい”と思うからに他なりません。JAきたそらちは正・準職員数が250名を超え、その組織を変えるのは容易なことではありません。それを知りながらもあえてこうした挑戦をするのは「次代を創る」…まさにそこにこそサムライの役割があるからです。これを進めるにあたり組合員の皆さんを初め、職員の方々にも何かとご協力をあおぐことがあろうかと思いますが、その際には何卒よろしくお願いいたします。こうした“組織や人に関わる問題”は少子高齢化の中にあり、今や「待ったなし」です。残念ながら第三者としてみると、JAグループ全体がこうした社会の流れに遅れているように感じます。その中にありJAきたそらちが「働きたいのある労働環境づくり」で、“一歩前をいく存在であってほしい”と願う私がいるのですが果たして。



【著者】石田邦雄（いしだくにお）氏

1946年北海道新得町生まれ。（有）石田コンサルタントオフィス代表取締役、めでの研究室主宰。国鉄、会計事務所を経て中小企業診断士として独立開業。

現在は社会保険労務士、キャリアコンサルタントとして、組織改革や人材育成に携わる。人と企業のマッチングを目指し、中小企業大学校を初めJAカレッジなど、多くの団体、企業と携わる。「教えるよりも考える」、「学ぶより気づく」を柱に、体験学習を交えたわかり易い研修が特徴。著書に「産業カウンセリング」や「縁を紡ぎ、人を育む」など多数。

知っておきたい得する経営情報

第12回

資産づくりの第一歩 投資のススメ

令和4年4月から、高校の家庭科で金融教育、いわゆる「お金」の授業が始まりました。具体的例を挙げると、家計管理や生活設計、保険商品、数年前から話題になっているNISAやiDeCo（個人型確定拠出年金）のような資産運用についてなど、金融リテラシーを学べる内容となっています。

投資とは？

将来に備えてお金を準備する為には、事前に資産形成を行っていくこと

が肝要になります。資産形成には「貯蓄」と「投資」の2つの方法があり、一般的に「貯蓄」とは、銀行等に預けるなど、お金を蓄えることで、「投資」とは資産に対する将来の利益を見込んで長期的にお金を投じることとされています。身近な例ですと、株式の購入や投資信託があり、賃貸収入を目的とした不動産購入、事業で行う売上拡大、生産性向上を目的とした設備の購入なども「投資」の一種です。

余談ですが、デイトレイドなどのような相場の変動を利用して利益を得る短期的な取引は「投機」と呼ばれます。

NISAとは？

平成26年1月にスタートした、個人投資家の為の税制優遇制度が「NISA」です。毎年、一定金額の範囲内で購入した金融商品から得られる利益は非課税、つまり税金が引かれなくなります。

令和5年現在、一般枠とジュニア枠は最大5年間、つみたて枠は最大20年間、利益や配当に対する税金は非課税とされていますが、令和5年度税制改正案より、これから施行予定だった新NISA制度が見直され、NISA制度の抜本的拡充・恒久化の方針が示されました。

令和5年度税制改正での変更点

では具体的に何が変わるのでしょうか。大まかにまとめると次の通りです。

- ①ジュニアNISAの終了、現行制度の変更により年間投資枠が各々で設けられる。
- ②非課税保有期間が無期限となる。
- ③非課税保有限度額が設定され、1800万円まで（成長投資枠分は1200万円まで）保有が可能。
- ④口座開設の恒久化や対象年齢の引き下げ。

それでは、項目ごとに詳しく説明していきます。

① 名称変更と 年間投資枠

現行のNISA制度には、一般NISA、つみたてNISA、ジュニアNISAという3種類の制度があります。ジュニアNISAは令和5年末で終了し、他の制度については成長投資枠、つみたて投資枠という名称に変更されます。加えて、各々120万円、240万円の年間投資枠が設けられました。この2つの制度は、従来の選択制だったものと異なり、併用することが可能です。

② 非課税保有期間の無期限化

「NISAとは？」で触れた通り、今まで非課税で保有できる期間は決ま

っていました。ですが、今回の改正でそれがなくなり、後述する非課税保有限度額内であれば無期限で投資に対する利益や配当への税金が引かれなくなります。

③ 非課税保有限度額の設定

成長投資枠、つみたて投資枠の2つを合わせて1800万円（成長投資枠の対象となるものは1200万円）まで投資商品保有することができ、金額の管理は簿価（取得価格）を使用し、この限度額の枠は、従来の制度とは違い、再利用することができ、例えば一般NISAを利用する場合、年間非課税枠は120万円の為、50万円分の上

場株式を購入し、年内に売却したとしたら、利用した50万円の枠をもう一度利用することはできず、その年は残りの70万円までしか非課税にできません。この制限がなくなるようになります。

④ 口座開設の恒久化、対象年齢の引き下げ

その他の改正として、NISA制度がスタートした際、投資可能期間及び、口座開設可能期間は令和5年までとなっていました。が、今後は恒久的に行えるようになります。

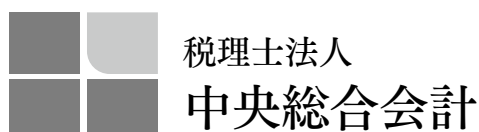
加えて、成年年齢が20歳から18歳に引き下げられたことに伴い、NISA制度の対象年齢も引き下げられました。

日本は投資より 貯蓄派が多い

日本の家計の金融資産の過半を現預金が占める状況が続いています。金融庁のレポートによると、20代、30代を中心につみたてNISAの開設が増えているようです。

金融庁からは金融について基礎から学べる冊子や動画などが公開されていたり、証券会社などではオンラインセミナーを積極的に開催していたりと、現代の高校生だけではなく、私たちもお金についてすぐに学べる環境が整っています。

投資はリスクを伴います。正しい知識を身に付け、現在の資産状況と相談しながら、自分にあったやり方を探してみてください。

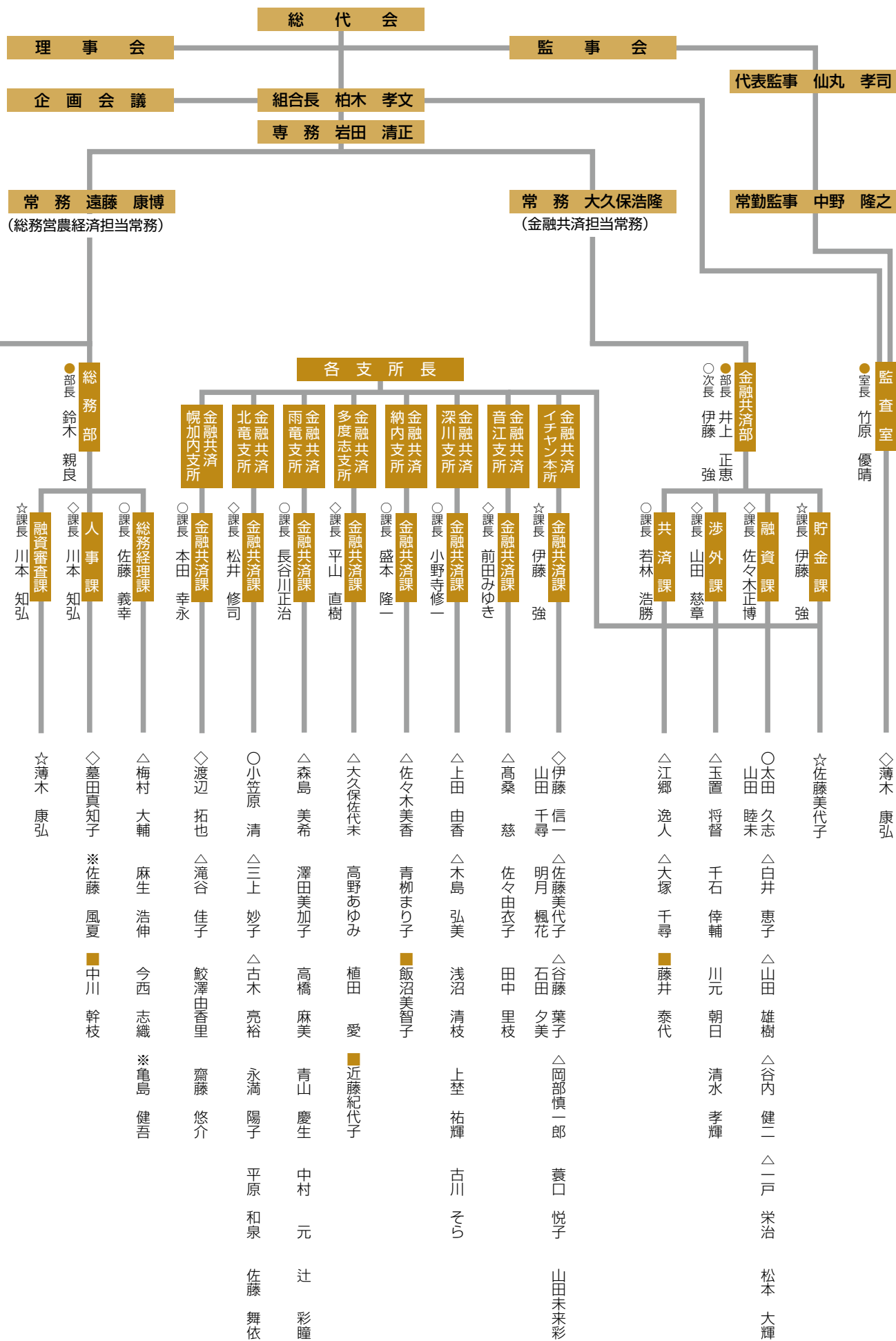


税理士法人
中央総合会計

「安心」が、私たちの商品です。

<http://www.csk-i.com>



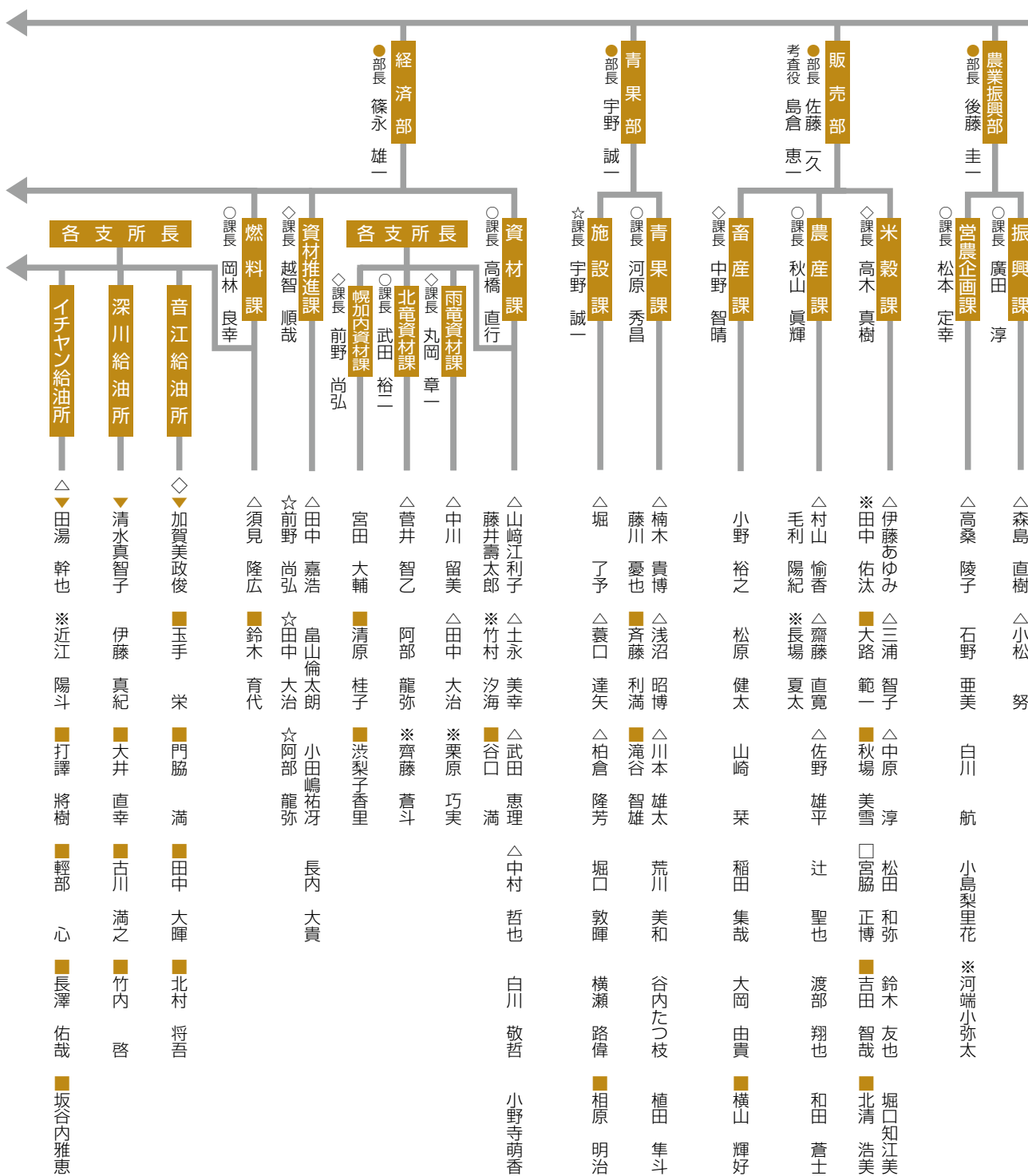


JAきたそらち機構図

(令和5年4月1日)

◆ 参事役	● 審査役	☆ 兼務
○ 考査役	◎ 課長補佐	□ 無期職員
◇ 調査役	▼ 所長・工場長	■ 嘱託職員
△ 主査	※ 新採用	

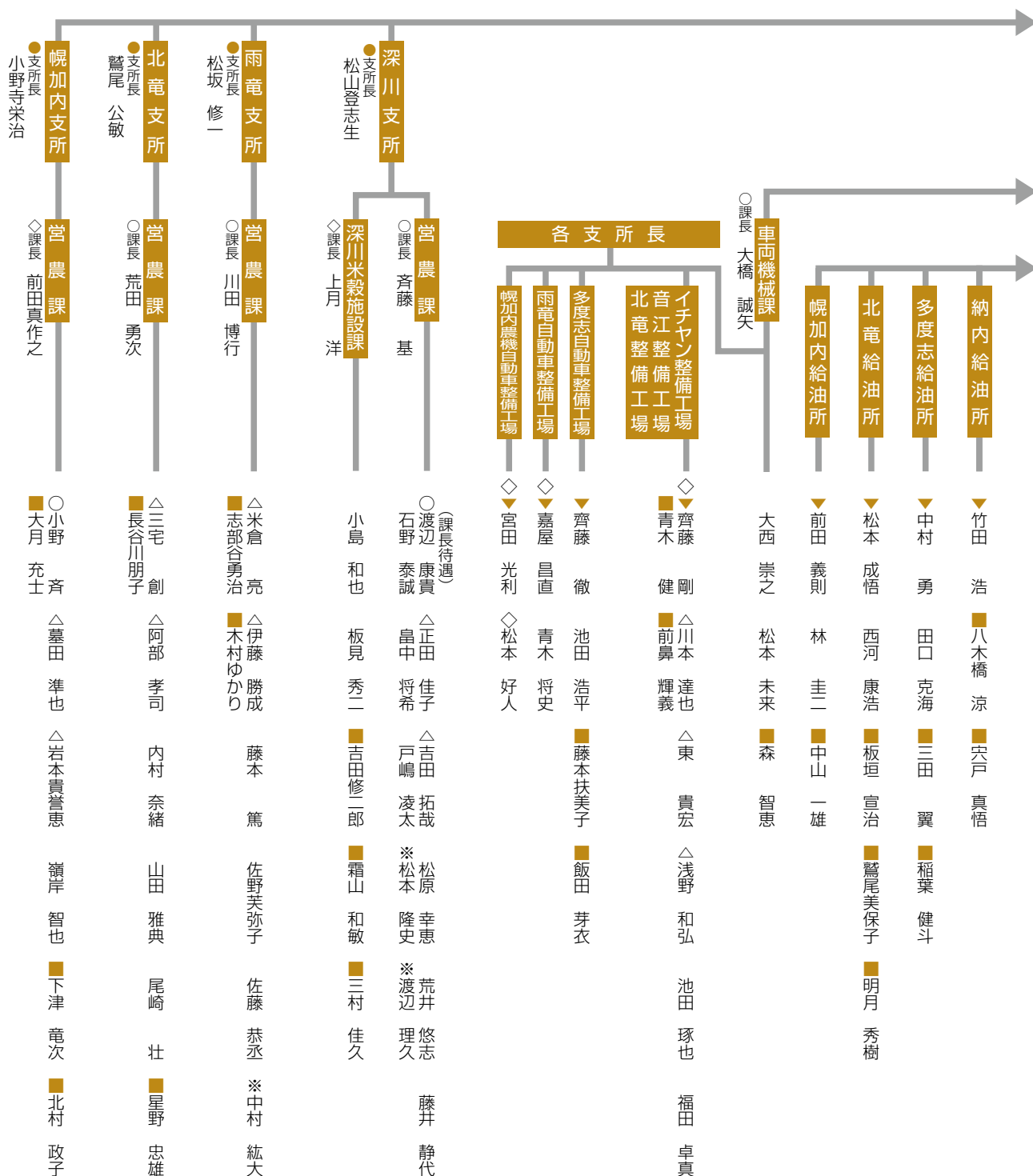
職 員 数			
	男	女	計
正職員	151	65	216
準職員	35	17	52
計	186	82	268



JAきたそらち機構図

北空知広域農協連

○立花 政志(課長待遇)
◇中川 大樹
富田 貴浩



退職者

長い間大変お疲れ様でした

飯沼美智子さんは旧納内農協に奉職以来42年、
青木 健さんは旧幌加内農協に奉職以来31年ご勤務いただきました。長い間大変お疲れ様でした。

なお、飯沼さんは金融共済部金融共済納内支所、
青木さんは経済部車両機械課イチヤン農機整備工場にて、再雇用となります。



金融共済納内支所
飯沼美智子



経済部 車両機械課
青木 健



大変お疲れ様でした

- | | | | |
|------------|-------|-------------|-------|
| ◆販売部 畜産課 | 畑中 聖人 | ◆金融共済イチヤン本所 | 阪井 知世 |
| ◆経済部 燃料課 | 村岡さゆり | ◆経済部 資材推進課 | 中村 敦洋 |
| ◆総務部 総務経理課 | 平山 幸子 | ◆総務部 総務経理課 | 小石川 正 |
| ◆経済部 北竜資材課 | 鹿島 友美 | ◆金融共済納内支所 | 長崎由香利 |

ナチュラルビズの実施について

JAきたそらちでは毎年、地球温暖化対策や節電対策の一環として、夏季期間の職員の軽装（クールビズ）を行っておりますが、より環境に配慮した省エネ・節電の取り組みを進めるとともに、社会環境の変化を踏まえ、より働きやすい職場環境を目指す観点から、本年4月より通年で事務所・窓口等において原則、ノーネクタイ、ノー上着で執務いたします。組合員並びにご利用のお客様におかれましては、趣旨にご理解下さいますようお願い申し上げます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

13 気候変動に
具体的な対策を



8 働きがいも
経済成長も



組合員の動き

(令和5年2月末日)

		当期首	加入	脱退	当月末
正組合員	個人	1,250	0	10	1,240
	団体	102	1	0	103
准組合員	個人	5,477	12	7	5,482
	団体	271	0	0	271
正組合員戸数		893	0	8	885

JAきたそらち太陽光発電所 発電実績

○令和5年2月実績

○累計（R4.12～R5.2）

発電電力 **17,935kWh**

発電電力 **36,479kWh**

計画対比 +7,038kWh

計画対比 +5,077kWh

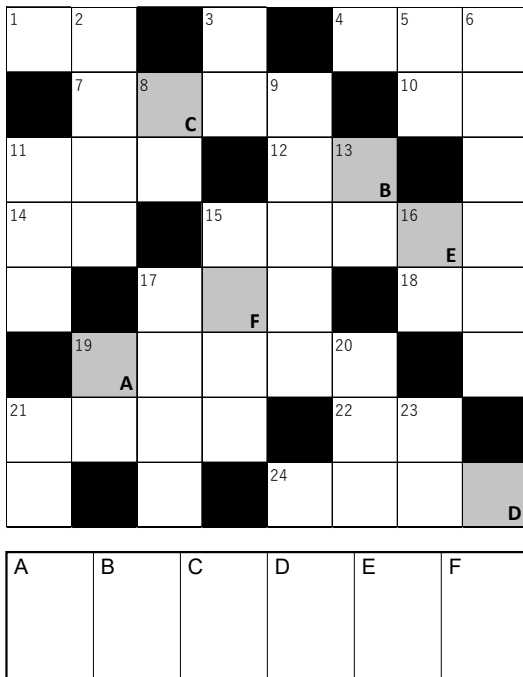
前年対比 Δ15,877kWh

前年対比 Δ30,118kWh

売電金額 717,400円（40円/kwh）

クロスワードクイズ

提供元:クロスワード.jp



【タテのカギ】

- 2 物事を軽く見て何の対応もしないこと。おろそか。
- 3 金額などを自動的に計算する機械。店で会計の際に使う。
- 5 海水や地中からとれる白くてからいもの。
- 6 働く人。
- 8 動物の内臓が入っている部分。おなか。「○○を括る」
- 9 職場で働いてくれる人をさがし求めること。
- 11 子どもをあやしたり、世話をしたりすること
- 13 演劇・芝居・ドラマ
- 15 船を建造すること。
- 16 水平・左右の方向。縦⇄○○
- 17 新聞・雑誌などで他の報道機関を出し抜いて重大なニュースをつかみ、報道すること。特ダネ。
- 19 話し手が自分・相手のどちらからも遠く離れた物を指す言葉。尾が長くちぎれやすい爬虫類。四足は短い、動きは素早い。
- 21 髪をすいたり、髪飾りにしたりするもの
- 23 水が動いて水面に高低ができる現象。「さざ○○」「高○○」

【ヨコのカギ】

- 1 コイ科の淡水魚。コイに似ているが小型でひげが無い。食用。
- 4 物の正面・前面とは反対の方。
- 7 貝や小石やガラスなどを指ではじく遊び。
- 10 国の最高権力者。君主。
- 11 小さい皿
- 12 湯などから立ちのぼる水蒸気が冷えて、白い煙のように見えるもの
- 14 木が沢山集まっておいしげっている場所
- 15 人員・設備などを増やして機能を強めること。
- 17 数を表す文字。
- 18 背中と尻の間のところ
- 19 ひとつの言葉の中で高く言ったり、強く発音したりする所
- 21 重い物を釣り上げて移動させるための機械
- 22 日本語を書き表すために、漢字をもとにして日本で考えられた文字
- 24 逃げていく道。逃げる経路。責任などを逃れる手段

2月号の正解は

「マメマキ」でした。

正解者の中から抽選で3名が選ばれました。

深川市 田中 麻矢 様
雨竜町 西谷 咲子 様
北竜町 杉本 育子 様

応募方法

正解者の中から抽選で3名様に農協全国商品券をプレゼント。ホームページ応募フォーム・ハガキ・FAXで①クイズの答え②住所、氏名、年齢③身近な出来事④農協だよりに対するご意見ご要望を記入の上ご応募下さい。

締切4月30日消印有効で当選者とクイズの答えは令和5年6月号に掲載します。

【送り先】〒074-0015 深川市深川町字メム10号線山3線5850番地

JAきたそらち農業振興部営農企画課

FAXの場合は 0164-22-1228

【ホームページ応募フォーム】URL: http://www.ja-kitasorachi.com/application_form/

※ご本人以外による応募は抽選の対象外とさせていただきます。



三月俳句

●雨電俳句会

目に見えぬ怖さが白き雪にあり
降る雪に怨み募れど縁断てず
消防から救命士への春になる
大雪を越えて診察二分半
マイバッグ縫製終えて針供養

北川 満江
小山 邦男
松木 五月
宮武 めぐみ
吉見 サヨ子

●「道」俳句会 北電支部

徳川の大奥映し雛の段
キャンドルの輪のぬくもりや雪の里
献血車着きし広場や雪解光
母の忌やそうねあの日も牡丹雪
悴む手焚火に翳す土方衆
折鶴に春を吹き込み飛ぶ構え
祖母の背や母の背中や針供養
遠い日の鯉甘露煮母の味

山本 玲子
山岸 正俊
阿部 れい子
吉尾 広子
山下 好晴
中島 雅子
宮脇 美和子
佐藤 美智子

●土筆俳句会

住み古りて雪の奈落に春待てる
山脈の出来る手の甲卒寿の春
雛あられ色とりどりに作り出す
逃げ水を追ふて運転実習日
たらふくの胃の腑を抱え怪魚凍つ
アクリル板磨きてしまふ夏近し
卒業や花束よりも笑顔咲く
後ろより軽き靴音春の土
口漱ぐ尖る水の音今朝大寒

高尾 美津子
池田 美知
山川 輝子
南川 富美子
佐藤 英三子
滝口 富美子
菅原 優子
森田 裕美子
小橋 厚子

第1回理事会〈令和5年2月28日開催〉以下の事項について決議・承認されました

1. 関係団体等諸会議について
2. 内部監査報告について
3. 監査結果概要報告について
4. 組合員の加入脱退について
5. 営農懇談会の開催日程について
6. 第23回通常総代会議長について
7. 役員報酬審議会の答申について
8. 令和4年度決算資産自己査定結果について
9. 令和4年度経営定期点検結果報告について
10. 反社会的勢力等との取引状況ほかについて
11. 職員の人事及び業務事故について
12. 新型コロナウイルスに係る今後の対応について
13. 事業評価制度の今後の取り進めについて
14. 第7次農業振興計画の中間評価と今後の取り扱いについて

- 議案第1号 組合員の出資金持分譲渡について
- 議案第2号 組合員の出資金持分相当額の仮払いについて
- 議案第3号 経営基盤強化積立金の取り崩しについて
- 議案第4号 令和4年度事業決算及び剰余金処分案について
- 議案第5号 令和4年度コンプライアンスプログラムの検証および令和5年度コンプライアンスプログラムについて

1. 役員賠償責任保険、身元信用保険及び個人情報賠償責任保険について

15. JA理事との利益相反取引実績について
16. 貸出金の貸付報告について
17. クミカン要精算額の処理状況について
18. クミカン貸越極度額の設定について
19. 金融 相談・苦情等対応状況の定期報告について
20. 共済 相談・苦情等対応状況の定期報告について
21. 令和4年度補正 畑地化促進事業要望額について
22. 令和5年産米「生産の目安」の取組状況について
23. 令和4年度 飼料自給率向上総合緊急対策事業の申請・採択結果について
24. 令和4年度 農業教育振興基金収支報告について
25. うるち米・もち米の情勢について
26. 青果・花き集荷販売実績について
27. 経済部事業実績について

- 議案第6号 貸出金利率の最高限度及び信用供与の最高限度額設定について
- 議案第7号 理事に対する貸出事前承認について
- 議案第8号 理事に対する貸出承認について
- 議案第9号 貸出金の貸付について
- 議案第10号 WCS農協取扱いにおける手数料等の設定について（案）
- 議案第11号 畜産販売手数料に係る大口取引対策費の支出について（案）
- 議案第12号 R5育苗施設苗価格改正（案）について

第2回理事会〈令和5年3月7日開催〉以下の事項について決議・承認されました

1. 職員の人事について
2. 令和4年度出資増口結果について
3. 令和4年度 太陽光発電収支報告について
4. クミカン要精算額の処理状況について
5. 再建組合員及び準指導組合員の選定について
6. クミカン貸越極度額の設定及び信用評価と対処方針について

- 議案第1号 北海道信連への出資増口について
- 議案第2号 令和5年度事業計画の設定について
- 議案第3号 令和5年度 固定資産の取得・修繕・処分計画について
- 議案第4号 第23回通常総代会提出議案について
- 議案第5号 令和5年度 役員報酬の支給について
- 議案第6号 JAバンク基本方針の変更について
- 議案第7号 令和5年度不良債権の処理方針について

7. 令和4年度不良債権処理方針に基づく回収状況について
8. 令和4年度 農畜産物販売実績及び交付金等を含む収入実績について
9. 令和4年度青果・花き生産振興対策（実績）について

- 議案第8号 クミカン貸越極度額の設定及び信用と対処方針について<再建組合員>
- 議案第9号 貸出金の貸付について
- 議案第10号 令和5年度 賦課金の賦課及び徴収方法について
- 議案第11号 系統外販売取引契約について
- 議案第12号 令和5年度青果・花き生産振興対策（計画）について

金融共済部からのお知らせ

新生活を迎える皆さまへ

JAの自動車共済で
万全なスタートを！

JA共済
R5.1月



年齢層別の事故件数は

20代以下が最も多くなっています。

そこで、万一に備えるためには十分な保障が必要です。

特にオススメはクルマスター！

自動車共済クルマスターなら

リスクを幅広くカバーする手厚い保障が安心です。

相手方への保障	「対人賠償」「対物賠償」
ご自身とご家族の保障	「人身傷害保障」「傷害定額給付保障」
お車の保障	「車両保障」「車両諸費用保障特約」

プラス
+



日常生活賠償責任特約

マモルモア

で日常生活にも安心を。

JA共済
オリジナル

お得な共済掛金で、負担が軽くなるかもしれません。

「自賠償共済セット割引」

対人賠償の
共済掛金 **7% 割引**

「複数契約割引」

共済掛金 **5% 割引**

「新車割引」

共済掛金⁽¹⁾ **最高5% 割引**

※車両保障、対人賠償、対物賠償、人身傷害保障ならびに傷害定額給付保障の共済掛金に適用します。

「自動継続割引」

共済掛金 **2% 割引**

「ASV 割引」

共済掛金⁽¹⁾ **9% 割引**

※車両保障、対人賠償、対物賠償、人身傷害保障、傷害定額給付保障ならびに車両諸費用保障特約（任意付帯の給付）の共済掛金に適用します。

※上記以外にも「長期優良契約割引」「農業用貨物車割引」などがあります。※割引の適用には所定の条件があります。

もしものときに頼れるサービス・体制が充実しています。

- 24時間 365日の事故受付
- レッカーサービス
- ロードサービス
- 夜間休日現場急行サービス など

事故対応窓口……全国約 **2,530** か所
損害調査
サービス担当者……全国約 **4,750** 人
(令和4年4月1日現在)

※サービスのご利用にあたっては所定の条件があります。

JA共済事故対応

利用者満足度

95.7%

※JA自動車共済利用者満足度調査。令和3年度実施。対応サービス全般の満足度調査（JA共済調べ。満足/やや満足/やや不満/不満。小数の第3位を四捨五入）

この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては、「重要事項説明書（契約概要）」を必ずご確認ください。また、ご契約の際は、「重要事項説明書（注意喚起情報）」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご確認ください。

お祝い金13,500円を抽選で当たる！
キャンペーンWebサイトはこちら
<https://car-cp.ja-kyosai.or.jp>

お問い合わせ

JAきたそらち

JA共済

本所 TEL 0164-22-6619 多度志支所 TEL 0164-27-2111
音江支所 TEL 0164-25-1111 雨竜支所 TEL 0125-77-2331
深川支所 TEL 0164-22-2171 北竜支所 TEL 0164-34-2280
納内支所 TEL 0164-24-2211 幌加内支所 TEL 0165-35-2024

2248103529